

- 医療分野における研究開発関連の調整費については、「医療分野の研究開発関連の調整費に関する配分方針」（平成26年6月10日健康・医療戦略推進本部決定）に基づき、令和2年度第2回で95.5億円、第3回で47.0億円を配分。そのうち第2回で36.7億円、第3回で5.0億円を新型コロナウイルス感染症対策に関連する研究開発支援として配分し、新型コロナウイルス感染症に関する研究開発を更に加速・拡充するとともに、研究開発体制のポストコロナ時代への対応も支援する。
- また、新型コロナウイルス感染症対策予備費を活用し、早期・大量の感染症検査の実現に向けた研究開発（19.0億円）を支援する。

(1) 新型コロナウイルス感染症対策のための支援の充実(29.8億円)

- 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の血清学的診断法の臨床的有用性評価
- 新規消毒剤を用いた安価で簡便な感染制御法の確立
- 西アフリカにおけるブルーリ潰瘍とその他の皮膚NTDs対策のための統合的介入
- 創薬等支援のための1細胞・微小生体組織のトランスクリプトーム解析
- COVID-19治療薬早期実用化のための環境整備
- 診断・治療・予防に資する実証・改良研究や機器・システムの評価に資する環境整備
- 東アジア特有の高血圧・脳梗塞リスクRNF213 p.R4810K多型の迅速判定法の確立と判定拠点の構築
- COVID-19感染による血管炎・血栓症の病態解明研究
- 多分野融合を柱とする感染症研究若手育成公募
- 治療薬の早期実用化のための開発支援及び免疫応答等の解析※

(2) AI等新技術導入による研究の加速(5.2億円)

- 分子モデリングおよびシミュレーションを活用したインシリコ創薬支援
- スーパーコンピューター「富岳」の計算結果を活用するためのCOVID-19感染症治療薬探索・評価基盤の整備
- 電子化による効率的なコホート調査及び回付を目指したアプリ・システムの構築
- 循環器疾患領域における多剤併用(polypharmacy)の実態とその問題把握に関する研究

(3) ニューノーマルへの対応(6.7億円)

- 精神疾患レジストリの構築・統合により新たな診断・治療法を開発するための研究
- 遠隔対応型の精神医療とメンタルヘルスケアの基盤システム開発・検証及び実用化促進
- 介護予防のための“通いの場”の総合的研究:実態把握と効果検証
- 地域づくりによる介護予防の推進のための研究
- 地域高齢者のエンパワメントによるフレイル予防推進と健康長寿のまちづくり
- With・postコロナ時代の精神神経疾患サステナブル遠隔臨床研究システム

(4) 診断法開発(19.0億円)

- 早期・大量の感染症検査の実現に向けた実証事業